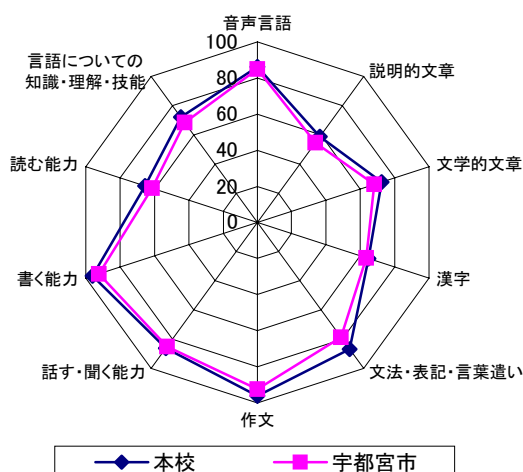


# 宇都宮市立豊郷中学校第1学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	86.2	84.9
	説明的文章	58.6	54.6
	文学的文章	72.4	68.0
	漢字	64.8	63.4
	文法・表記・言葉遣い	86.9	78.8
	作文	96.1	92.3
観点別	話す・聞く能力	86.2	84.9
	書く能力	96.1	92.3
	読む能力	65.5	61.3
	言語についての知識・理解・技能	72.2	68.5



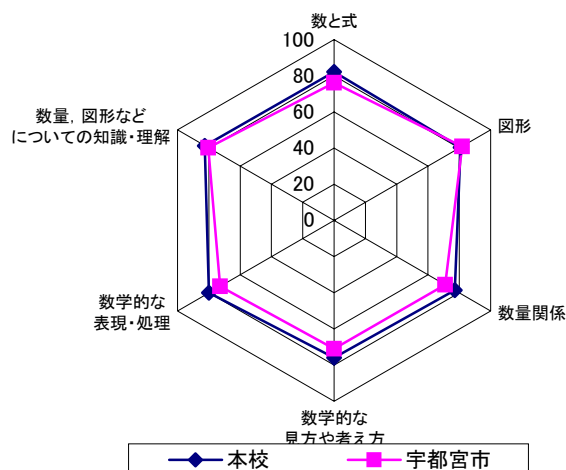
## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (86.2%)	市の平均と比べると1.3ポイント高い結果となった。	・授業の中でも、聞き取りテスト活用したり、「聞く・話す」の活動を取り入れ、日常生活でもただ聞くのではなく、大切なことを正しく聞き取る力をつけさせていきたい。それとともに、わかりやすく話す力も身につけさせたい。
説明的文章 (58.6%)	市の平均と比べると4.0ポイント高い結果となった。しかし、文学的文章に比べると13.8ポイント下回っている。	・文学的文章に比べ、説明的文章に触れる機会が少ないことが読解力の差につながっていると思われる。新聞記事などを活用し、説明的文章に触れる機会を多くするとともに、授業においても接続語などをヒントに読み解く方法を指導する。
文学的文章 (72.4%)	市の平均と比べると4.4ポイント高い結果となった。	・読書に親しむ態度が身に付いているので、さらにさまざまな作品を読む機会を作っていく。また、登場人物の心情を深く読み取るために、一つ一つの表現に着目し、読むことを指導する。
漢字 (64.8%)	市の平均と比べると1.4ポイント高い結果となった。	・音読み・訓読みともに読み書きができるよう、日常的な例を示しながら指導する。また、同訓異字や同音異字を正しく使い分けるために、部首の意味を確認しながら指導する。
文法・表記・言葉遣い (86.9%)	市の平均と比べると8.1ポイント高い結果となった。	・文法については、例文を用いて日常使っている言葉とのつながりを意識させながら指導する。表記や言葉遣いについては、普段の授業やノート指導の中で指導していく。
作文 (96.1%)	市の平均と比べると3.8ポイント高い結果となった。	・苦手意識を持っている生徒が多いので、短作文を書く活動を増やし、書くことに対する抵抗感を減らしていくよう指導する。適切な評価をして返していくことによって、生徒が自分の課題を確認できるようにしていく。

# 宇都宮市立豊郷中学校第1学年【数学】領域別／観点別正答率

## ★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	82.2	76.1
	図形	80.8	81.7
	数量関係	77.0	71.0
観点別	数学的な見方や考え方	76.0	71.0
	数学的な表現・処理	80.0	72.7
	数量、図形などについての知識・理解	82.5	80.3



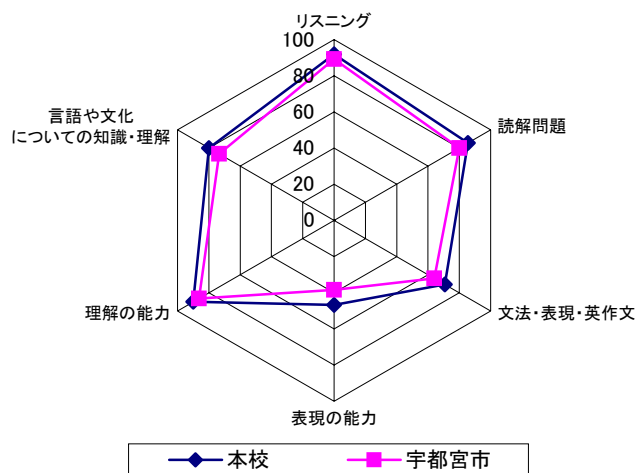
## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (82.2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、昨年度と同程度の結果であった。市の平均との比較では、6ポイント上回る結果であった。</li> <li>市の平均と比較し、特に「文字式の値」「文字式の表し方」で大きく上回るなど、昨年と同様の傾向が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、基本的な計算問題を丁寧に繰り返し取り組ませ、さらに基礎・基本の定着をはかりたい。</li> <li>文字に対する抵抗は少ないようであるが、今後もその継続を目指し、文字の意味や扱い方が捉えられるような指導の工夫に努めていきたい。</li> </ul>
図形 (80.8%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「平行の表し方」「点対称の図形の対応する点」の問題の平均正答率は、市の平均を上回ったが、「線対称な形」「点対称な形」の問題では、市の平均を下回る結果となってしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度良好であった「線対称な形」「点対称な形」の問題で、今年度は正答率を下げたことになった。今後の学習の適時に、その内容を復習する機会を設け補っていきたい。</li> <li>授業の中で具体物を用いたり操作的な活動を取り入れる場面を多くもち、図形概念の基礎をしっかりと身につけさせたい。</li> </ul>
数量関係 (77.0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度および市の平均と比較すると6ポイント上回っており、よく理解できている生徒が多い。</li> <li>昨年と同様に、比例、反比例とも表およびグラフに関する問題の正答率が良好であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学年での比例、反比例の理解が、その後の数量関係の学習へと大きく影響する。今回の結果から、それぞれのつまづきや理解の程度をさぐり、個に応じた指導を心がけていく。</li> <li>数量関係の学習は、数量を表・式・グラフなどの多様な観点から追及させることが大切で、その点の指導を丁寧に行っていきたい。</li> </ul>

# 宇都宮市立豊郷中学校第1学年【英語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	91.8	89.1
	読解問題	85.6	80.0
	文法・表現・英作文	70.9	63.9
観点別	表現の能力	46.8	38.5
	理解の能力	89.8	86.2
	言語や文化についての知識・理解	79.9	73.4



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング	市の平均正答率を1.7ポイント上回っている。 (91.8%)	基本的な指示を英語で行ったり、ウォームアップとして会話活動を取り入れたりして、普段の会話の中で自然に英語を聞き取る環境を作っていきたい。また、ALTとの活動にも聞き取りのゲームなどを取り入れ、リスニング力を高める活動を増やしていきたい。
読解問題	市の平均正答率を5.6ポイント上回っている。 (85.6%)	単語の予習だけではなく、予習の中で本文の内容の理解を促すなど、自ら読解しようとする態度を育てていきたい。また、指示語や代名詞の内容を明らかにしたり、ユニット間のストーリーのつながりを意識しながら読み進めたりして、文章同士の関係を意識するよう促していきたい。
文法・表現・英作文	市の平均正答率を7.0ポイント上回っている。3つの領域の中で、最も市の平均正答率を上回っている。観点別では、表現が市の平均正答率を8.3ポイント、理解が3.6ポイント、言語や文化についての知識・理解が6.5ポイント、それぞれ上回っている。 (70.9%)	登場人物や相手の意図を問うQ&Aを用いたり、文脈を捉えた上で表現しなければならない場面を作ったりするなど、理解する力を高める活動を多く取り入れていきたい。